



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月14日

上場取引所 大

上場会社名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社
コード番号 8737 URL <http://www.akatsuki-fg.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼財務経理部長 (氏名) 川中 雅浩

TEL 03-6821-0606

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	737	3.9	709	6.4	42	—	221	318.8	184	108.0
24年3月期第1四半期	709	△17.0	666	△19.4	△189	—	52	—	88	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 164百万円 (112.2%) 24年3月期第1四半期 77百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.31	2.49
24年3月期第1四半期	1.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	13,190	3,492	26.5	62.77
24年3月期	14,225	3,327	23.4	59.81

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,492百万円 24年3月期 3,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期の配当予想は、現時点では未定となっております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

当社グループは、投資金融サービス業を営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	59,458,171 株	24年3月期	59,458,171 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	14,722,542 株	24年3月期	14,721,880 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	55,635,658 株	24年3月期1Q	58,777,440 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は、平成22年10月1日付で、親会社である(株)クレゾーを吸収合併消滅会社、当社を吸収合併存続会社として合併しておりますが、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)第212項に基づき、子会社である当社の個別財務諸表における合併に係る処理を振り戻し、当該合併以前の(株)クレゾーの連結財務諸表における処理を合併後も継続すると共に、(株)クレゾーが当社の少数株主から株式を追加取得したものととして会計処理を行っております。そのため、連結財務諸表における平成25年3月期第1四半期末の自己株式数は3,823,010株となっております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)における我が国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災からの復興に向けた需要による景気回復の動きが期待される一方で、電力供給の制約や原子力災害の影響など、依然として懸念すべき問題は残っております。また、欧州政府債務危機の再燃や中国経済の成長率鈍化など、これらを背景とした海外景気の下振れ等によって、我が国の景気が下押しされるリスクも存在しております。

このような環境の中、株式市場におきましては、期首に10,100円台で始まった日経平均株価は、欧州政府債務危機を巡る不確実性や米国の経済指標、円高の長期化などに影響され、6月初旬には一時8,200円台まで下落いたしました。その後は緩やかに回復したものの、平成24年6月末の日経平均株価は9,006円78銭で取引を終了いたしました。

当社グループの中核会社であるあかつき証券(株)におきましては、以前より強みを有する株式委託取引に加え、投資信託及び債券等の販売強化による収益の多様化を図り、営業収益に対する金融商品の販売による手数料収入の比率を高めてまいりました。また、経営の効率化に努める一方で、投資銀行業務など法人ビジネスの強化にも取り組み、収益の拡大を図ってまいりました。

重要な経営課題である対面営業の更なる強化を図るため、当社は平成24年2月から同年4月にかけてドリームバイザー・ホールディングス(株)の普通株式公開買付けを行い、その結果、同社は当第1四半期連結累計期間より当社の持分法適用関連会社となりました。これにより、ドリームバイザー・ホールディングスグループが提供する投資関連情報や投資分析関連コンテンツ等をあかつき証券(株)が顧客への営業ツールとして使用するなど、顧客に対してタイムリーかつ適切な金融情報と投資助言を提供し、同業他社との差別化を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間については、前述いたしましたとおり株式市場は東日本大震災の影響や円高の長期化、また欧州の財政不安などによる世界景気減速懸念など、一時は8,200円台に下落し概ね低調に推移いたしました。東証一日平均売買高は19億92百万株(前年同四半期比6.4%減)、売買代金は1兆2,193億円(前年同四半期比11.8%減)となっております。

このような株式市場の中で、当社の連結子会社であるあかつき証券(株)の当第1四半期連結累計期間の業績は、受入手数料435百万円(前年同四半期比28.4%減)、トレーディング損益257百万円(前年同四半期比889.4%増)、営業利益79百万円(前年同四半期は営業損失162百万円)、経常利益88百万円(前年同四半期は経常損失153百万円)、四半期純利益62百万円(前年同四半期は四半期純損失162百万円)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は737百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益は42百万円(前年同四半期は営業損失189百万円)、経常利益は221百万円(前年同四半期比318.8%増)、四半期純利益は184百万円(前年同四半期比108.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は9,981百万円(前連結会計年度末は11,202百万円)となり、1,220百万円減少いたしました。これは信用取引資産が減少したことが主な要因であります。固定資産は3,208百万円(前連結会計年度末は3,022百万円)となり、186百万円増加いたしました。これは関係会社株式の取得により投資有価証券が増加したことが主な要因であります。

この結果、総資産は13,190百万円(前連結会計年度末は14,225百万円)となり、1,034百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,726百万円(前連結会計年度末は7,732百万円)となり、1,005百万円減少いたしました。これは信用取引負債が減少したことが主な要因であります。固定負債は2,904百万円(前連結会計年度末は3,098百万円)となり、193百万円減少いたしました。これは負ののれんが減少したことが主な要因であります。

この結果、負債合計は9,698百万円(前連結会計年度末は10,897百万円)となり、1,199百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,492百万円(前連結会計年度末は3,327百万円)となり、164百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は26.5%(前連結会計年度末は23.4%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、投資金融サービス業を営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	1,971,549	1,756,546
預託金	3,022,483	2,779,483
顧客分別金信託	2,943,000	2,700,000
金融商品取引責任準備預託金	79,483	79,483
トレーディング商品	362,246	455,068
信用取引資産	4,871,579	4,218,731
信用取引貸付金	4,787,335	4,213,026
信用取引借証券担保金	84,244	5,704
その他の流動資産	1,009,758	803,042
貸倒引当金	△35,262	△31,381
流動資産計	11,202,354	9,981,490
固定資産		
有形固定資産	353,476	377,754
無形固定資産	8,901	8,889
投資その他の資産	2,660,424	2,822,186
投資有価証券	2,235,463	2,348,547
その他	735,547	784,115
貸倒引当金	△310,586	△310,476
固定資産計	3,022,803	3,208,830
資産合計	14,225,157	13,190,321
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	3,583,475	2,684,176
信用取引借入金	3,422,284	2,589,684
信用取引貸証券受入金	161,190	94,491
預り金	2,496,145	2,224,936
顧客からの預り金	2,380,666	2,024,529
その他の預り金	115,479	200,407
1年内返済予定の長期借入金	614,000	614,000
未払法人税等	19,955	8,467
賞与引当金	59,720	21,377
訴訟損失引当金	—	3,000
その他の流動負債	959,479	1,171,034
流動負債計	7,732,777	6,726,991
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,021,000	1,021,000
退職給付引当金	190,876	182,430
役員退職慰労引当金	15,100	14,750
訴訟損失引当金	226,881	226,881
負ののれん	1,330,912	1,143,051
その他の固定負債	313,624	316,619
固定負債計	3,098,395	2,904,733
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	66,538	66,538
特別法上の準備金計	66,538	66,538
負債合計	10,897,711	9,698,263

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,790,407	2,790,407
資本剰余金	75,500	75,500
利益剰余金	791,052	975,477
自己株式	△274,753	△274,783
株主資本合計	3,382,205	3,566,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△44,249	△67,930
為替換算調整勘定	△10,509	△6,612
その他の包括利益累計額合計	△54,759	△74,542
純資産合計	3,327,446	3,492,058
負債・純資産合計	14,225,157	13,190,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業収益		
受入手数料	607,719	427,730
トレーディング損益	26,032	257,566
金融収益	45,282	19,148
その他	30,646	33,014
営業収益計	709,681	737,461
金融費用	21,421	7,130
売上原価	21,648	21,080
純営業収益	666,611	709,250
販売費・一般管理費	856,017	667,177
取引関係費	21,372	8,965
人件費	495,495	345,651
不動産関係費	76,603	76,717
事務費	73,591	70,580
減価償却費	16,192	12,325
租税公課	18,015	9,235
貸倒引当金繰入れ	11,629	—
その他	143,117	143,701
営業利益又は営業損失(△)	△189,406	42,072
営業外収益	247,365	209,482
負ののれん償却額	187,860	187,860
持分法による投資利益	31,805	—
その他	27,698	21,621
営業外費用	5,012	29,804
支払利息	5,012	2,307
持分法による投資損失	—	27,496
その他	—	0
経常利益	52,945	221,749
特別利益		
子会社清算益	50,349	—
特別利益	50,349	—
特別損失		
固定資産除却損	2,278	3,585
投資有価証券評価損	2,977	—
金融商品取引責任準備金繰入れ	5,713	—
本社移転費用	—	18,191
訴訟和解金	—	7,190
その他	—	5,573
特別損失	10,970	34,540
税金等調整前四半期純利益	92,325	187,209
法人税、住民税及び事業税	3,662	2,785
法人税等合計	3,662	2,785
少数株主損益調整前四半期純利益	88,663	184,424
四半期純利益	88,663	184,424

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	88,663	184,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,693	△10,995
持分法適用会社に対する持分相当額	△389	△8,787
その他の包括利益合計	△11,082	△19,783
四半期包括利益	77,580	164,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,580	164,641
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

主要な連結子会社であるあかつき証券株の業績の概況

(1) 受入手数料

区分	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期増減率(%)
証券取引		
委託手数料	243,860	△40.6
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	71,048	△51.9
その他の受入手数料	120,321	143.7
合計	435,230	△28.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) トレーディング損益

区分	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期増減率(%)
証券取引		
債券等トレーディング損益	257,566	—
合計	257,566	889.4

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 債券等トレーディング損益の前年同四半期増減率は、1,000%を超えているため「—」と記載しております。

(3) 自己資本規制比率

区分		当第1四半期連結会計期間末 (平成24年6月30日)
基本的項目(百万円) (A)		2,627
補完的項目(百万円)	金融商品取引責任準備金等	66
	一般貸倒引当金	31
	長期劣後債務	500
	計 (B)	597
控除資産(百万円) (C)		784
固定化されていない自己資本の額(百万円) (A) + (B) - (C) (D)		2,440
リスク相当額(百万円)	市場リスク相当額	68
	取引先リスク相当額	108
	基礎的リスク相当額	736
	計 (E)	914
自己資本規制比率(%) (D) / (E) × 100		267.0